



◇◇◇◇◇◇◇◇ 2学期始業式 式辞要旨 ◇◇◇◇◇◇◇◇



長い夏休みが終わり、子どもたちも元気な顔で登校しました。この夏休みには、家族で出かけたり、友だちと友好を深めたり、普段できないことを体験・経験することができたのではないのでしょうか。さて、2学期のスタートにあたって3つのことを話しました。

【切り替えるということ】

私たちの生活には必ず節目があります。新たな学期が始まるということもひとつの節目です。今までの自分を変えようと思ったときに何らかのきっかけがないとなかなか変えられるものではありません。それは、我々大人でも同じです。そこで大切になってくるのが「節目」というものです。夏休みは自由な時間があつたわけですが、2学期が始まり気持ちを入れかえて生活していかなければなりません。同時に1学期の自分を振り返り、この機会に自分を変えてみようとするよいチャンスになるはずです。「節目」にあたって気持ちを切り替えてよりよい自分を見つけていって欲しいと思います。

【メリハリをつけるということ】

2学期がスタートするとすぐに大きな行事「運動会」が待っています。運動会が終わると「若あゆ祭」の準備が始まります。更に「駅伝大会」と続いていきます。学校はいろいろな行事が目白押しに押し寄せてきます。それに伴って考えられることが、生徒自身の本分である「学業」がおろそかになるということです。そこで必要なことはメリハリをつけて学校生活を送るということです。行事は行事としてしっかり取り組み、成功させること。同時に、授業に真剣に取り組みやらなければならないことを確実に取り組んでいくこと。部活動も家庭学習もしっかり取り組んでいくことが大切です。

【凡事徹底・積小偉大ということ】

年度当初から、凡事徹底と積小為大ということをお話してきています。凡事徹底は人としてやるべきことをしっかりできるようにすることです。あいさつができる。時間を守る。整理整頓ができる。これらのことは、東陽中生だれもが必ずできるようにしていきたいと考えています。そして、積小偉大とは、まさに「継続は力なり」です。積小為大とは二宮金治郎の言葉です。コツコツコツコツと物事を積み上げ（積み重ね）ていくことによって、いずれ大きな事を成し遂げることができるということです。しかし、地道に物事を進めるといことは根気がいり簡単にできることではありません。だからこそ、その大切さを子どもたち自身が理解し、自分の力で進めていくことが大切なのです。

保護者の皆様にもご理解いただき後押しをしていただけると嬉しく思います。

校舎北側通路が整備されました



長い間、轍ができていたり、でこぼこした道路でした。また、側溝の蓋もなく登下校時に子どもたちに不便な

思いをさせていました。夏休みに入りすぐに工事が始まり平らに舗装されました。側溝の蓋はまだ整備されていない（今後全て完備される予定）ところもありますが以前に比べれば数段安全が確保されました。

エアコンが設置されました



各教室にエアコンが設置されました。冷暖房として使用されます。より良い学習環境のもと子どもたちは集中して勉強に取り組むことができます。

2学期学級委員紹介

2学期の学級委員が3日の集会で任命されました。各自が学級委員としての自覚を持ってより良い学級づくりを率先して進めて欲しいと願っています。

		1 年	2 年	3 年
1組	委員長	山根 瑤亮	柏崎 健汰	青木 優香
	副委員長	若林 美柚花	竹澤 茉思	川田 拓実
2組	委員長	坂本 祐樹	半杭 美奈	清水 悠貴
	副委員長	長 朋佳	柏崎 吾守也	越沼 有咲
3組	委員長	熊倉 悠悟	板倉 凜太郎	宇賀神 魁
	副委員長	田中 優花	村田 茉白	郡司 綾乃
4組	委員長	松本 航太	田浪 慎也	片野 啓汰
	副委員長	船田 瑛未	栗田 実佳	横山 梨奈
5組	委員長	飯島 悠太	落合 龍空	小岩 舞星
	副委員長	大野 凜花	篠原 宇宙	馬場 悠希
6組	委員長	金賀 万凜	島田 侑希	大貫 征土
	副委員長	日向野 怜偉	濱田 成見	栃木 めぐみ



救命救急研修会

本校では毎年、夏季休業中に救命救急研修会を実施しています。今年も栃木市消防署の職員の方を講師に迎え、心臓マッサージ、AEDの使い方の研修をしました。「備えあれば憂いなし」どんな時にも冷静に対応できるよう私たち教職員も学んでいます。もちろん、学校現場では、AEDを使うような事故がないことが一番です。

栃木市平和大使



々と発表していました。

8月5日から7日までの2泊3日で、栃木市内の中学2年生各校2名計28名の平和大使が広島平和記念式典に参加してきました。本校からは学校代表として小林龍之介君(2-2)、長崎思音さん(2-4)が参加してきました。8月15日に、市役所本庁で報告会がありましたが、二人とも堂々と発表していました。

平和のすばらしさ

2年2組 小林龍之介

夏休みの3日間で私はたくさんのことを広島で見聞してきた。例えば、平和祈念資料館での原爆で黒焦げになった弁当や皮膚がただれて水を求めてさまよう人の模型など全て、戦争の恐ろしさを静かに伝えてきた。そして3日後、家に戻ってきて家族の顔を見たとき、戦争のないこの国のこの時代に生まれてこられてよかった、私は幸せだなと涙が出そうになった。戦争の恐ろしさを知ることにより、このありふれたあたり前の日常、ご飯を食べたり、勉強したり、遊んだりすることができるこの日常こそ「平和」であるのだということ、そしてそれがいかに大切で失ってはいけないものなのか気付くことができた。恵まれた環境の中で過ごして見失っていた。今の生活のありがたさを知れば、みんな戦争でそれを壊そうとはしないだろう。日本で戦争を二度と起こさないために、世界から戦争をなくすために、派遣で学んだことを一人でも多くの人に話すことで、あたり前の日常を送れることのすばらしさを伝えていきたい。



《Coffee break》

小さなキセキ、大きなキセキ

日本テレビの24時間テレビ。今年のテーマは「小さなキセキ、大きなキセキ」この番組の中で、生まれながらにして左足がない中学3年生の少女について取り上げていました。義足でも、テニス部に所属し、地区大会で優勝するなど頑張っています。世の中には恵まれない環境にもかかわらず、明るく精一杯に頑張っている人たちが大勢いる。そんなことを考えたとき、本校の子どもたちはどうなんだろうと考えてしまいます。勉強でも部活でももっと頑張れるんじゃないか。自分自身で限界を作って先に進む努力をしていないんじゃないか。自分に甘えてるんじゃないか。そして、うまくいかないことの多くを責任転嫁しているんじゃないか。今の日常があることをキセキと思って、もっともっとがんばれるんじゃないかと・・・。

13日(土)は運動会です。生徒の活躍を是非ご覧ください。

